

京都府地域創生戦略

3年目(平成29年度)の事業効果検証

平成30年8月3日 京都府地域創生推進会議
(於：ルビノ堀川 3階 アムールの間)



京 都 府

1

本日の議事 (目次)

(事務局説明)

- ① 125本のK P I (重要業績評価指標)の全体達成状況について
- ② 平成29年度の主な事業の効果検証について
- ③ 平成30年度の主な事業について

(意見交換、総括)

2

KPIの全体達成状況

3

5年間のKPIのうち「単年度」の達成状況はどうか

基本目標		単年度達成率（単純平均）		
		平成27年度	平成28年度	平成29年度
1	京都の未来を拓く人をつくる	39KPI = 103.6%	39KPI = 95.2%	39KPI = 94.0%
2	地域経済を活性化させ、仕事をつくる	42KPI = 118.8%	42KPI = 136.2%	42KPI = 146.8%
3	京都への人の流れをつくる	26KPI = 114.4%	34KPI = 107.0%	34KPI = 117.6%
4	持続可能で魅力と活力のある地域をつくる	10KPI = 103.3%	10KPI = 92.1%	10KPI = 99.1%
合計（単純平均）		117KPI = 110.0%	125KPI = 107.6%	125KPI = 114.4%

【検証結果】

▶ 全ての基本目標で9割を超え、合計（単純平均）は過去2年間に上回る状況

4

KPIはこの「3年間」でどこまで達成したのか

基本目標		5年間の最終目標に対する達成率（単純平均）	
		平成29年度（平成27年度）	
1	京都の未来を拓く人をつくる	5年後の目標に対して3年間で	= 73.3%
2	地域経済を活性化させ、仕事をつくる	5年後の目標に対して3年間で	= 101.8%
3	京都への人の流れをつくる	5年後の目標に対して3年間で	= 86.3%
4	持続可能で魅力と活力のある地域をつくる	5年後の目標に対して3年間で	= 84.7%
4項目単純平均		5年後の目標に対して3年間で	= 86.5%

【検証結果】

- ▶ 単純に5年間のうち3年の達成としては60%がメルクマールとなる
- ▶ 全ての基本目標で7割を超え、合計では86%まで達成

5

平成29年度に実施した 主な施策

6

1 京都の未来を拓く人をつくる

◆ きょうとこどもの城づくり事業

(決算額 約1.0億円)

- ▶ 開設・運営支援 こども食堂 37箇所
- ▶ こどもの居場所 26箇所 等

◆ 障害者共生推進事業

(決算額 約4.0億円)

- ▶ 農福連携に取り組む事業所への支援、障害者の雇用サポート等の取組を推進

◆ 高齢者安心社会実現事業

(決算額 約2.0億円)

- ▶ 在宅療養支援の強化や認知症総合センターの整備、福祉人材の確保等を実施

効果検証 (主なもの)

過去最高

- ▶ 障害者雇用率 29年度 2.07% (←28年度 2.02%) (KPI 2.2% (31年度))
- ▶ 看取りを支える専門的人材(ケアマネージャー)の育成数 298名 (27~29年度累計)
(KPI 350人 (27~31年度累計))

7

2 地域経済を活性化させ、仕事をつくる

◆ 「企業の森」事業

(決算額 約6.3億円)

- ▶ 企業グループの新たな事業展開、国内外への販路開拓を後押しし、新たな産業文化を創生
- ▶ プロジェクト創出件数 48件

◆ 京都舞鶴港「海の京都駅(仮称)」推進事業

(決算額 約0.5億円)

- ▶ クルーズ船寄港回数増に対応できる観光拠点施設を整備



コスタ ネオロマンチカ

乗客定員: 1,572人
乗組員数: 622人
総トン数: 56,769トン

効果検証 (主なもの)

- ▶ 業界・業種を超えたコラボレーションによる新ビジネスの数 29年度 35件
(KPI 50件 (27~31年度累計))
- ▶ クルーズ客船の寄港数 29年度 39寄港 (KPI 20寄港 (平成31年度))

過去最高

8

3 京都への人の流れをつくる

◆ 京都移住促進プロジェクト事業

(決算額 約1.5億円)

- ▶ 「住」×「職」のパッケージ支援により移住を促進

◆ アーティストフェア京都事業

(決算額 約0.2億円)

- ▶ アーティストが企画し、出品者となり、運営する新たなアートフェアを初開催
- ▶ 来場者数 約3,000人 売上 約15百万円

◆ 文化財保護緊急強化事業

(決算額 約2.4億円)

- ▶ 府独自の「暫定登録文化財制度」を創設し、保存修理や防災対策への助成等を実施
- ▶ 暫定登録文化財登録件数 1,016件(平成29年度末現在)

効果検証(主なもの)

- ▶ 農山漁村へ移住した都市住民等の人数 29年度 552人(←28年度 326人)
(KPI 1,000人(31年度))
- ▶ 府指定・登録文化財件数 1,781件(29年度) (KPI 1,960件(31年度))

9

4 持続可能で魅力と活力のある地域をつくる

◆ 「お茶の京都博」開催事業

(決算額 約2.2億円)

- ▶ 「お茶の京都博」の開催により、山城地域内の賑わいと交流の場を創出
- ▶ 「お茶の京都博」来場者数 約146万人

◆ 新名神高速道路の開通

- ▶ 新名神高速道路(城陽JCT・IC～八幡京田辺JCT・IC) 【平成29年4月開通】

効果検証(主なもの)

- ▶ 広域連携プロジェクト数 29年度 6プロジェクト(←28年度 5プロジェクト)
(KPI 7プロジェクト(31年度))
- ▶ 名神高速道路(大山崎JCT)から南部(木津IC)への移動にかかる所要時間
29年度 25分(←28年度 30分) (KPI 25分(31年度))

10

平成30年度展開中の 重点事業

11

予算編成の基本方針

平成30年4月16日 西脇府政スタート

知事就任後、初となる今回の予算では、

「将来に希望の持てる新しい京都づくり」に向け、

以下の3つの観点から、京都の魅力を更に高めるための
予算を編成。

1. 安心して暮らしやすい社会の構築
2. 京都産業の活力向上
3. スポーツ・文化力による未来の京都づくり

※ このほか、新しい時代の戦略づくりに着手

12

予算編成の施策体系

1. 安心して暮らしやすい社会の構築

- (1) 子育て環境日本一の実現
- (2) 先進的な防災・減災対策の強化
- (3) いきいきと暮らせる健康づくり
- (4) 生活の安心と共生社会の実現
- (5) 学びの安心と次世代の育成等

2. 京都産業の活力向上

- (1) 中小企業等の裾野拡大と成長支援
- (2) 担い手の確保・育成
- (3) 京都観光の次なる展開と京都ブランドの海外進出強化等

3. スポーツ・文化力による未来の京都づくり

- (1) 文化力による未来づくり
- (2) スポーツを通じた活力の創造

13

1 安心して暮らしやすい社会の構築

(1) 子育て環境日本一の実現

約1.5億円規模



◆ 執行体制の見直し

「子育て環境日本一推進本部」の設置

- ▶ 出会い、結婚支援から出産、子育て、教育、就労支援まで一環した子育て環境日本一をめざすため、知事を本部長とする推進本部を設置（平成30年6月21日 第1回会議開催）

◆ 安心して「出産」できる京都づくり

- ▶ 「京都府周産期医療体制強化に関する協定」（平成30年6月5日締結）
 - ・府、第一日赤、府立医大病院、京大病院の4者協定により妊娠・出産から子育てに係る医療体制を強化
- ▶ 周産期等子育て医療体制強化費 27百万円
 - ・府立医大病院におけるNICUの増床
- ▶ 総合医師確保対策費 5百万円
 - ・北部地域の小児科医確保に向けた奨学金枠拡大
- ▶ 仕事と不妊治療の両立支援事業費 4百万円
 - ・きょうと子育てピアサポートセンターでの仕事と治療の両立に悩む方に対するきめ細かな相談・助言

◆ 安心して「子育て」できる京都づくり

- ▶ 保育士確保・就業環境向上事業費 10百万円
 - ・保育士確保のための修学資金制度の拡充（貸付期間2年→4年）
- ▶ 保育等子育て環境充実事業費 100百万円
 - ・施設整備へのきめ細やかな支援（間取り変更、衛生対策）
- ▶ ダブルケアサポート事業費 6百万円
 - ・ダブルケア相談員の育成など体制整備
- ▶ 多様な働き方実現・人材確保推進事業費 6百万円
 - ・中小企業におけるワークシェアリングなどの多様な働き方を推進する取組を支援

14

1 安心で暮らしやすい社会の構築

(2) 先進的な防災・減災対策の強化

約40.1億円規模

◆ 安心・安全基盤の整備

- ▶ 河川・砂防 1,177百万円
- ▶ いろは呑龍トンネル 1,562百万円
- ▶ 在田橋の復旧 700百万円
- ▶ 橋りょう耐震化対策推進事業費 400百万円

◆ 原子力防災対策の推進

- ▶ UPZ市町避難路整備 180百万円

(3) いきいきと暮らせる健康づくり

約5.0億円規模

◆ いきいきと暮らせる健康づくり

- ▶ 健康長寿・データヘルス推進事業費 26百万円
・「見える化システム」を活用した地域課題の検討など市町村への伴走支援
- ▶ 北部医療センターがん診療棟整備費 470百万円
・北部医療センター(与謝野町)に北部初となる「がん診療棟」を整備
- ▶ 北部リハビリテーション充実費 4百万円
・中丹東保健所内に北部リハビリテーション支援センターを設置し、訪問リハの人材育成などを行う拠点を整備

15

1 安心で暮らしやすい社会の構築

(4) 生活の安心と共生社会の実現

約16.4億円規模

◆ 生活の安心と共生社会の実現

- ▶ 暮らしの安心・安全確保緊急対策事業費 22百万円
・自画撮り被害防止のためのLINE電話相談対応及び広報啓発の実施
- ▶ 府民協働型インフラ保全事業費 1,600百万円
・従来の「安心・安全の確保」に、「インフラ長寿命化」に繋がる提案を加えた、新たな府民公募型の公共事業を創設
- ▶ 女性の起業・経営支援事業費 12百万円
・起業アイデアの募集、ブラッシュアップ、事業化支援などを伴走型で一体的に支援

(5) 学びの安心と次世代の育成等

約6.2億円規模

◆ 学びの安心と次世代の育成等

- ▶ 府立高校生夢チャレンジ留学支援事業費 4百万円
・低所得世帯向けの留学支援制度を創設
- ▶ 府立高校遠隔教育システム導入事業費 37百万円
・小規模校においても教育機会を保障し、教育の質の維持向上を図るため、遠隔教育システムを導入
- ▶ 向日が丘支援学校基本構想策定調査費 2百万円
・校舎改築等に向けた基本構想の検討に必要な調査等を実施

16

1 安心して暮らしやすい社会の構築

★ 平成30年7月豪雨の復旧・復興

約106.4億円規模

◆ 被災者の生活再建支援

- ▶ 地域再建被災者住宅助成費 186百万円
- ▶ 地域再建被災者住宅融資対策費 1百万円
- ▶ 緊急救助活動費 43百万円
- ▶ 緊急健康相談等支援事業 1百万円

◆ 中小企業・農業者の復興支援

- ▶ 中小企業等復興支援事業 35百万円
- ▶ 農業者等復興支援事業費 16百万円
- ▶ 農作物生産確保緊急対策事業費 3百万円
- ▶ 農業者経営復興特別支援事業費 8百万円
- ▶ 農林水産業共同利用施設の復旧支援 6百万円

◆ 社会基盤・府民利用施設等の災害復旧等

- ▶ 道路・河川等の災害復旧 7,500百万円
- ▶ 北近畿タンゴ鉄道施設の災害復旧 110百万円
- ▶ ほ場・林道等の災害復旧 784百万円
- ▶ 緊急災害防止対策 1,690百万円
- ▶ 文化財等の災害復旧 14百万円
- ▶ 信号機の災害復旧 8百万円
- ▶ 自然公園等の災害復旧等 100百万円
- ▶ 府民利用施設等の災害復旧 106百万円

17

2 京都産業の活力向上

(1) 中小企業等の裾野拡大と成長支援

約26.7億円規模

◆ 中小企業等の裾野拡大と成長支援

- ▶ 京都産業人材育成ネットワーク構築事業費 33百万円
・府内各地の拠点をTV会議システムで結び、産業人材の育成をはじめ府全域に効果が及ぶ体制を整備
- ▶ 京都経済センター(仮称)整備事業費 2,483百万円
- ▶ 小規模製造業設備投資等支援事業費 100百万円
・ものづくり小規模企業の生産性向上につながる設備投資等への支援
- ▶ 中小企業シェアリング拡大事業費 10百万円
・企業同士の共同化(シェアリング)を実践するための取組への支援
- ▶ 次世代地域産業推進事業費 50百万円
・iPSやAI等に関連する新産業創出のため、産学公連携グループを支援



(2) 担い手の確保・育成

約1.4億円規模

◆ 担い手の確保・育成

- ▶ 新卒離職者再チャレンジ事業費 10百万円
・ハローワークや大学等と連携し、早期離職者の再就職に向けたカウンセリングやマッチングを実施
- ▶ 中小企業事業継続・承継支援強化事業費 5百万円
・不本意廃業の防止に向けた、事業承継支援体制の強化
- ▶ 丹後・知恵のものづくりパーク機能強化事業費 127百万円



18

2 京都産業の活力向上

(3) 京都観光の次なる展開と京都ブランドの海外進出強化等

約0.7億円規模

◆ 執行体制の見直し

「観光戦略総合推進本部」の設置

- ▶ インバウンド戦略や近隣府県等との広域連携など、京都観光戦略を総合的に推進するため、知事を本部長とする推進本部を設置（平成30年6月15日 第1回本部会議開催）

◆ 京都観光の次なる展開

- ▶ 京都式ガストロミーツリズム推進事業費 23百万円
・府域の横断的な「食」の情報発信・周遊観光
- ▶ 次世代観光が「ト」システム構築事業費 18百万円
・SNS連動デジタルサイネージを観光の玄関口及び府内各地の交通結節点に設置し、京都市内に集中する観光客を府域へ誘導



◆ 京都ブランドの海外進出強化等

- ▶ 「京もの」海外常設店設置事業費 10百万円
・香港・台湾に府内産品を専門に扱う常設店舗・コーナーの開設を支援し、中小企業の海外展開を支援
- ▶ 「おいしい京都」世界戦略事業費 8百万円
・香港に続き、新たにシンガポールでも京もの（農林水産物）のPRや試食会等を実施
- ▶ 宇治茶新展開事業費 5百万円
・入りや水出しの京都らしい宇治茶を開発し、新たな需要を創造

19

3 スポーツ・文化力による未来の京都づくり

(1) 文化力による未来づくり

約5.6億円規模

◆ 文化力による未来づくり

- ▶ 京都ワールドアートアンドクラフト展開事業費 14百万円
・芸術と工芸の両分野で取組を加速
- ▶ 京都府ミュージアムフォーラム魅力発信事業費 2百万円
・本年9月のICOM舞鶴ミーティングで、府内博物館の魅力を発信
- ▶ 地域文化創造事業費 8百万円
・地域アートマネージャーを府内全域に配置し、地域文化活動支援を強化
- ▶ 和食文化高等教育機関設置推進費 167百万円
・府立大学「和食文化学科(仮称)」の学舎整備
- ▶ 新行政棟・文化庁移転施設整備費 300百万円

(2) スポーツを通じた活力の創造

◆ スポーツを通じた活力の創造

- ▶ スポーツ拠点施設充実費 18百万円
・市町村が実施する広域的スポーツ施設の整備に対する助成
- ▶ 京のアスリート育成・強化総合推進費 57百万円
・ジュニア層強化や指導者育成を推進
- ▶ サイクルツーリズム推進事業費 2百万円
・本年10月開催の「KYOTOロングライド in South Around」を誘致

20